

明治乳業は 長期差別争議を 全面解決せよ!



こんなの
あり〜!

勤務評定で差をつける!
ささいなミスもたたけ!
仕事の内容で
差別しろ!

出る^ツは引き抜く!

―明治乳業の労働者支配

儲けのために「一番邪魔になるのは「ものを言う労働者」と「たたかう労働組合」。これが明治乳業の一貫した思想です。

一九六〇年代後半に全国各地の工場が高まった労働組合運動に危機感をいだいた明治乳業は全国で労働組合支部の転覆に奔走しました。

会社の意のままにならない労働者に「赤虫」「生産疎外者」のレッテルをはり、賃金や昇格、仕事での差別を繰り返して来ました。

四十年以上勤めても

新入社員と同じ職分で定年退職

このため、四十年以上勤めて定年退職を迎えた労働者の本給が、十五万六千九百四十円という驚くべき事態が起こっています。

職分では、申立て人の圧倒的多数は最下位職分からわずか一ランク昇格しただけで定年を迎える。中には最下位職分のまま定年を迎えざるを得なかった労働者もであるほどの差別が行われてきたのです。

働く者の人権が守れない企業に消費者の人権を守る事など出来ません。労働者の人権を守る「こと」、食の安全を守ることはまさに「一体のものではないでしょうか。」

全国事件審理始まる 差別の温床えぐる

長いこと据え置かれていた「全国事件」(9事業所32名)の審問が、都労委で始まりました。

6月5日の第1回証人尋問では桜井証人が、差別・格差がなぜ、どのようにして生まれるのかについて、明治乳業の職分・賃金制度などをひもときながら、反論の余地なく解明しました。

「定年まで新入社員と同じ職分のままの申立人もいる」などの差別行為に、満席の傍聴席からあらためて怒りの声が出ていました。



明治乳業争議支援共闘会議

連絡先：江東区労連 Tel.03-5605-5285 明治乳業争議団 Tel.047-332-5698

ホームページ

<http://meinyu-sougi.web.infoseek.co.jp>

製品事故も
不祥事も
なんでも
かんでも

明治乳業さん、これでいいの？

異議なし！了解！



消費者にも株主にも

背をむけた株主総会

「食の安全」に対する不祥事、不正行為が続き不信感がつのる中開かれた、明治乳業第百二十期株主総会。総会には、長期労働争議の早期解決、「食の安全・安心」と相次ぐ不祥事、国内酪農の危機打開など四十項目を超える事前質問書が株主六十四名の連名で提出されていました。経営陣はこれらの質問にまともに答えようとはせず、はぐらかしの答弁に終始しました。株主や消費者・国民に背をむける不誠実な対応は許されるものではありません。

どこへ行った？

赤さび混入疑惑の
百五十九万本の牛乳

四月に発生した明治乳業関西工場（大阪府貝塚市）製造の百五十九万本もの「赤さび混入牛乳」回収事件についても事前質問書で何本回収できたのか等、詳細にわたって質問しました。しかし回答は木で鼻をくくったような回答で、何本回収したのかも答えません。消費者・国民に謝罪する言葉の一片もありません。それどころか「健康被害の申し出はありません」と開き直る始末。「異物混入」に対する何の反省もない経営陣の態度にはあきれ果ててしまいます。これでは消費者・国民が求める「食の安全・安心」に應えることは出来ません。

これが
明治乳業の
常識？

「リヨウ
カスイイ」と拍手

動員された社員株主が株主総会会場の前列に陣取って、社長や経営陣の答弁のたび、「一斉」「了解・異議なし」コールを繰り返して、拍手をする「演出」は出席者の失笑をかっていました。不祥事事件の不誠実な答弁にも「リヨウカスイイ」コールと拍手。これが明治乳業の常識なのでしょうか？

多くの株主が発言を求めている中、元管理職OBに、動議を出せば、質問を打ち切るなど、非民主的総会運営に怒りの声が上がりました。

明治乳業は長期争議を解決し、「食の安全・安心」に責任を果たせ！